(報告第5号について都市戦略推進担当より説明)

(質疑等の要旨)

- 委員 生産緑地の多いエリアであるが、新しい住環境の形成として慎重に開発を進めてほしい。
- 委員 まちづくりビジョンを策定した経緯や根拠、またどのような効果があるのかなど、ビジョンの位置付けを教えてください。
- 事務局 (仮称)武庫川周辺阪急新駅のまちづくりは、新駅自体の施工は阪急電鉄が行い、駅周辺は市が整備するものである。整備を進めるにあたり、都市計画マスタープランの考え方を踏まえて進める。令和4年度にアンケートを実施し、令和5年度に勉強会を行うなかで、市民から期待と不安の声をいただいたため、市の考え方を示すためにまちづくりビジョンを策定した。いただいた市民の声を反映しながら、今後の具体的な設計を進めていきたいと考えている。
- 委員 これから進めるにあたり、このまちづくりビジョンがどこまで前提となるのか、今後のプロセスを教えてください。
- 事務局 まちづくりビジョンをHPで周知するとともに、周辺にお住まいの方を対象とした説明会を実施予定である。説明会以降も、市民の意見をいただく機会を設けて、設計を具体化し、周辺整備を進めていく。
- 委員 みどりのまちづくり計画でも記載している緑化重点地区に基づいて整備すると、税金優遇を受けながら、民間の土地を公園のように使用できる制度がある。全国の事例を参考に、他の制度と連携しながら検討すればよいのではと思う。
- 事務局 緑地についても、新しい考え方を参考にしながら、連携して取り組んでいきたいと考えている。

以上